

関西知財活用支援プラットフォーム

経営課題の解決に向けて 知財視点で支援を行います！

支援先企業
募集中
8/1 〆

近畿経済産業局が日本弁理士会関西会、日本弁理士会北陸会及びINPIT-KANSAIの協力の下に実施する関西知財活用支援プラットフォームでは、2025年大阪・関西万博までに、知財を稼ぐ力にして経営を行う企業を関西で多く創出することを目的としています。

本事業では、自社の有する強みを知的財産の視点から活用し、経営力強化に取り組みたい中小企業およびスタートアップ企業等に対し、将来的な競争力強化やブランド力向上を目指して、知財専門家による知財戦略コンサルティング支援を行います。

募集概要

対象者

自社の強みである知的財産を経営に活用することに対して、興味や意欲、課題認識等を有する中小企業者・スタートアップ企業*

*福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県に本社がある企業を対象とします。

支援のメリット

- ✓ 経営課題に対応した知見・専門性を有する知財専門家による支援を受けることができる
- ✓ 経営戦略と連動した知財戦略支援を受けることができる

参加費

無料

支援回数

5 回程度（支援内容による）

支援期間

2024年 9月 ~ 12月（予定）

募集数

5 社程度

- 応募概要の詳細、募集案内 (8/1(木)17時〆)
https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/07_chizai_platform/outline.html



- 「知的財産活用BOOK vol.03」(右)
https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/07_chizai_platform/book_R5fy/book_2023.pdf



※令和5年度の支援事例、令和3-5年度の支援事例一覧などを掲載



支援事例

自社の強みの明確化

特徴や技術を知財視点で客観的に捉え直すことで、自社ならではの強みを把握し、経営資源として活用する。

新規事業の方向性検討

特許情報を活用して、顧客ニーズの探索や自社の優位性把握を行い、新規事業の方向性の決定に活かす。

事業の付加価値を強化

事業の流れを俯瞰して、自社が優位に立てる領域を見出す。生み出す付加価値を整理し、収益につながる方策を検討する。

ブランド力の向上

ブランド体系の整理と商標の効果的な活用により、自社のブランド力の向上を目指す。

支援内容例

知的財産を事業に活かすためのアドバイスや支援後の活かし方の助言を行います。

戦略



知財ミックス戦略

特許・実用新案・意匠・商標・ノウハウ・著作権など、複数の知的財産権を活用する方法を一緒に考えます。



オープン&クローズ戦略

市場を拡大して収益を最大化するために技術を開放するオープン戦略と技術を囲い込むクローズ戦略の組合せ方法を一緒に考えます。



知的財産の発掘支援

事業の中から「強み」となる技術・ブランド・ノウハウ等の知財を見つけ出す作業をお手伝いします。



知財管理体制の構築

事業から創出される知財を拾い上げ、管理し、必要に応じて特許等の知的財産権を取得していく仕組み作りをお手伝いします。



秘密管理体制の構築

製造ノウハウをはじめとする営業秘密が漏洩しないように管理する体制作りをお手伝いします。



知財調査体制の構築

事業を進めるに際して障害となり得る他社の知的財産を調査する体制作りをお手伝いします。



ブランド戦略

商品・サービスの「強み」が顧客に伝わるように知的財産の観点からブランド構築をお手伝いします。



マーケティング戦略への知財情報活用

特許文献から得られる情報などをマーケティング視点で捉え、顧客ニーズや競争環境の把握をお手伝いします。



職務発明規程の整備

職務発明について会社名義で特許出願するために必要な職務発明規程の作成や改訂をお手伝いします。



知財関連契約の整備

知財関連契約の整備のほか、契約締結時の留意事項に注目しながら契約の骨子作りをお手伝いします。



新製品開発での知財活用

新製品を開発する際の開発方向性の検討、工夫点やネーミングなどにおける知財活用についてお手伝いします。

具体的取組

